

だ。結果的に俺たちは、同じ春日丘で知り合った女性とそれぞれ結婚したのだが、その前に一悶着があった。彼の奥さんになった人は、春日丘の同期の女生徒の中でも評判の美人で、茨木高校の男子生徒が昼休みを利用して見に来るくらいのマドンナだった。その彼女を俺たちは熾烈な取り合いをして、結果的に俺は奥野務君に負けた。

結婚後同じような時期にそれぞれ2子に恵まれて、家が同じ茨木市内ということになって、またそれぞれの家に行き来するようになった。一緒によく飯盒炊きにも二家族で出かけた。花火をしたり、無線のラジコン機を飛ばしたりもした。30代になると仕事が忙しくなると、ほおとんど会うこともなくなつた。子どもも塾や習い事が忙しく、しばらくの間はめつたに会う機会が巡つてこなかった。50代になって、俺は農業を始めるために沖繩県の宮古島に単身居を構えていた。マンゴーなどの熱帯果実を作るという妄想に取り付かれていたのだ。子どもたちが独立した後のその頃、またスカイプで彼と話をするようになった。夜中、電話がかかってきてPCを立ち上げると言ってくるのだ。彼は、仕事を月の内半分もしないようになっていた。酒を飲むと酔つて次の日は寝ている。だから仕事に出

ない。まるで高校時代に舞戻つたような暮らしを始めていた。

彼が死ぬ2週間前に、久しぶりに電話に出た彼に「今度4月に帰るから11日に会おうや」と約束した。「お前、一体何が原因で、そんなに酒ばかり飲んでるのや」というと、「それ聞いてどうする？」と言う。「聞かずに、おられへんやろ」それが最後の会話だった。4月11日に彼の家に行くべく駅に向かっていると携帯電話が鳴った。娘さんからだだった。「父に何度も電話をいただいていたみたいですが、実は冷たくなつているんです」と。数日前から何度か携帯へ電話をしていたのは、また家の前まで行つても会えないのは困るなど思つて、そうしたのだが彼はでなかつたのだ。彼が死んだ。俺と会う約束をしていたのに。

家に着いた俺が目にしたのは、布団に寝かされ顔に白い布をかぶされた姿だった。布団はそこに体がないほど平たくなつており、白い布を取つて見たその顔は、痩せこけて眠っている老人のようだった。俺は務に問いかけた。「一体俺に酒ばかり飲む理由を最後まで言わなかつたのは何でや？俺にも言えないほどの理由やつたんか。水臭いやんか」と。その眠っているような死

## 茨木高等女学校

### 一年生の思い出

川 端 富 枝 (昭13卒)

私が一年生の時でした。昭和天皇の第一子明仁親王がご誕生になり国を挙げての祝賀会が催されました。私たちも体育の加藤芳男先生を先頭に、歩いて学校から三宅村まで提灯行列をしました。そして、翌日には全校生徒の祝賀会があり、一学年毎に一名ずつの入選者があり一年生は二名の入選で脇田昭子さんと私でした。この時の入選歌六首は以後の学校誌に掲載されました。私の詠んだ短歌は

「東海の 濤押し分けて 天津日の  
昇るが如く 皇子生れましぬ」

豊川小学校より茨木高等女学校に入学生時は一メートルもない小さい田舎者でしたので大変うれしかったです。

この入選がもとで下手ながら長い人生、事あるごとに短歌をつくってきました。また、文豪川端康成さんの亡くなられた時に詠んだ歌も川端文学研究会の会長長谷川泉先生の推挙によつて外国へも送られ身に余

顔を見ていて、いろいろな思い出が蘇ってきました。高校時代の彼の部屋で、飲み会をして皆で反吐を吐いたこと。彼が弾くピアノに合わせてジャズのベースをやつてくれと言われ、下手糞とのしられたこと。泊まつた日の次の日、彼のお父さんの盆栽の手伝いを、務が起きないので俺がさせられたこと。三宅島でキャンプしたときに、寝袋がないので布団を担いで船に乗ったこと。ラジコン機が南港に落ちて普段は貨物船の船員の運ぶ船で取りに行ったこと。一緒に甲子園で春日丘を応援したこと。飯盒炊きさんを茨木の山でやろうとして、森林警備隊に注意されたこと。彼の家で子どもたち相手にクイズショーをやつて、子どもたちに怖がられたこと。花火で子どもにやけどさせられたこと。思い出すのは、笑つてしまふほどの失敗話ばかりだった。不思議と涙は出なかった。

葬式の後、俺は形見分けにピアノの横で埃を被つていたウッドベースを買った。夜中に彼とジャズセッションをしていた思い出の品である。そのベースを担ぎながらあの曲が頭の中に流れてきた。

「You Dont Know What Love Is」

奇しくも彼の死を発見した娘さんの名前は、レイちゃんと言う。

## 西村司法書士事務所

### 司法書士 西村 昭一

(昭39年卒)

事務所 〒567-0888 茨木市駅前三丁目3番13号  
(茨木市役所西側) 西村ビル  
TEL 072(627)2233 番(代)  
FAX 072(623)5766 番

## 弁 護 士 朝 沼 晃 (昭40年卒)

事務所 〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番12号  
北浜永和ビル2階  
内北浜法律事務所  
TEL (06) 6222-5057  
FAX (06) 6222-5058